

府中市立府中第八小学校改築に伴う基本設計

< 概要版 >

令和2年3月

目次

1. 基本方針	1
2. 敷地概要、計画概要	2
3. 配置計画	3
4. 平面計画	
(1) 1階平面図	4
(2) 2階平面図	5
(3) 3階・屋上平面図	6
5. 立面・断面計画	7
6. イメージパース	8
7. 環境・省エネルギー配慮計画、防災計画	9
8. 設備計画	10
9. 工程計画、建替計画、概算工事費	11

1. 基本方針

府中第八小学校の基本設計は、府中市の上位計画である「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画」に示した「学校施設の全体整備方針」を具現化し、「府中市立府中第八小学校改築に伴う基本計画」に示した「基本計画の基本方針」に基づき、同校の立地環境や学校の歴史・伝統文化・地域とのつながり・教育の特色などの独自性をいかせる計画とします。

□「府中市学校施設改修・長寿命化改修計画」に示した「学校施設の全体整備方針」

1 子供たちが毎日を健康で安全・安心に、生活し学ぶことができる学校施設	
(1)安全・安心な学校	①子供たちの安全性に配慮した学校施設を整備します ②十分な防犯性を備えた安心な施設環境を確保します
(2)健康で快適な学校	①採光、通風、換気、温度、遮音性等に配慮し、健康で快適な学習環境を整備します ②温かみのある、落ち着いた空間づくりに配慮します ③ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使用しやすい環境を整備します
2 子供たちが生き生きと学び、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を身に付けられる学校施設	
(3)学習環境の充実	①一人一人に応じたきめ細やかな学習指導や複数の学級での学習・交流活動ができるよう、多様な学習形態に対応できる学校施設を整備します ②子供たちが主体的・対話的で深い学びができる学習環境を整備します ③子供たちの体力や運動技能の向上に資するよう、運動のしやすさに配慮した学校施設を整備します ④特別支援教育を推進し、一人一人の教育的ニーズに対応できる多様な学習環境を整備するとともに、誰もが相互に理解し学び合うことができる環境を整備します
3 学校と地域が連携、活性化し、地域で子供たちを育てていくことができる学校施設	
(4)子供たちの成長を支える学校	①学校と家庭や地域との連携・協働が図れる環境を整備します ②各学校の地域の特色や独自性をいかし、愛着の持てる学校施設を整備します ③教職員がそれぞれの力を発揮し互いに連携し合える、働きやすい環境を整備します ④学校管理職がリーダーシップを発揮し、学校経営のしやすい環境を整備します
4 地域の方々が生涯学習・文化・スポーツ活動の場や災害時の避難所の役割を通じて、地域コミュニティの拠点となる学校施設	
(5)地域コミュニティの拠点となる学校	①地域住民の生涯学習・文化・スポーツの拠点となるよう、学校施設の有効活用を図ります ②災害時の避難所運営を踏まえた施設の整備を行います
5 公共施設の一つとして、施設の総量抑制や圧縮、財政バランスの維持に向けた手法の検討などの公共施設マネジメントの取組を推進する学校施設	
(6)持続可能な学校整備	①計画的かつ確実に老朽化対策を実施するため、長期的な財政見通しを考慮し、財政負担の軽減に努めた学校施設を整備します ②改築を実施した学校の状況を点検・評価し、その結果を踏まえた学校施設を整備します ③施設環境の良好な維持と維持管理コストの低減を図れるよう、改築実施後のメンテナンスに配慮した学校施設を整備します
(7)将来の人口動態などに柔軟に対応できる学校	①将来の人口動態などに応じて、各教室や建物などを他の用途に転用しやすい学校施設を整備します
6 その他	
(8)環境に配慮した学校施設	①省エネルギー・省資源型の学校施設を整備します

基本設計への反映

□「府中市立府中第八小学校改築に伴う基本計画」に示した「基本計画の基本方針」

- ・温かみと落ち着きのある空間づくりや環境面に配慮し、木材を使用した校舎とします。
- ・運動会や収穫祭、鼓笛隊等を見学したり観戦したりしやすい施設を検討します。
- ・大切にされてきた学校環境を継承し、卒業生や地域住民に愛され続ける施設とします。

□府中第八小学校の整備方針

1. 子供たちが毎日を健康で安全・安心に、生活し学ぶことができる学校施設

- (1) 安全・安心な学校
- ①窓からの転落を防ぐ安全対策を行います。
 - ②内外の視認性を確保し、校内へのアプローチを限定するなど、防犯に配慮した設計とします。
- (2) 健康で快適な学校
- ①高窓等を設けることで自然採光や通風に配慮します。また、断熱や吸音性を確保します。
 - ②内装に木材等を活用し、温かみのある教育空間を実現します。
 - ③エレベーターや誰でもトイレを設けるなど、バリアフリー化を図るとともに、児童の体格や発達段階に配慮して手すりや窓、戸などを設計します。

2. 子供たちが生き生きと学び、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を身に付けられる学校施設

- (3) 学習環境の充実
- ①教室と児童ロッカーを分け、教室を学習スペースとして整えます。
 - ②学年毎に教室とつながるオープンスペースや学習室を確保し、多様な学習・交流活動を促す工夫を行います。
 - ③施設全体に多様な学習活動を支える家具やICT環境を整え、協同学習や発表活動等に取り組める教育空間とします。
 - ④プールを体育館の屋上に設けることで校庭を広くします。
 - ⑤体育館はコート周りにゆとりを確保し、子供たちがのびのびと安全に活動できるようにします。
 - ⑥特別支援教室は落ち着いて学べる環境とします。
 - ⑦教室周りには児童が落ち着けるスペースを設けます。
 - ⑧児童が面談・相談に訪れやすい校務センターや保健室、相談室とします。

3. 学校と地域が連携、活性化し、地域で子供たちを育てていくことができる学校施設

- (4) 子供たちの成長を支える学校
- ①保護者や地域の協力に基づく収穫祭や運動会等の行事が行いやすい計画とします。
 - ②日常執務や作業、情報交換、授業・教材研究等が行いやすい校務センターとします。
 - ③校長や副校長、教職員等が連携・協働しやすい校務センターとします。

4. 地域の方々が生涯学習・文化・スポーツ活動の場や災害時の避難所の役割を通じて、地域コミュニティの拠点となる学校施設

- (5) 地域コミュニティの拠点となる学校
- ①体育館や家庭科室、和室、多目的ルーム等を地域開放しやすいゾーニング計画とします。
 - ②地域開放ゾーンをそのまま避難所ゾーンとすることで、地域住民が日常的に使い勝手を理解し、避難所開設、運営、協働がスムーズに行いやすいようにします。

5. 公共施設の一つとして、施設の総量抑制や圧縮、財政バランスの維持に向けた手法の検討などの公共施設マネジメントの取組を推進する学校施設

- (6) 持続可能な学校整備
- ①建設費と建設後の維持管理費や更新費を総合的に捉えて仕上げや設備などの仕様を決定します。
 - ②普通教室の大きさなど、府中市学校施設改修・長寿命化改修計画に基づいた各室計画とします。
 - ③勾配屋根の採用や設備配管スペースの集約配置など、維持管理費低減を図りやすい計画とします。
- (7) 将来の人口動態などに柔軟に対応できる学校
- ①児童数が減少傾向にあることから、1学年4教室のうち1教室は多目的利用が図れる計画とします。また、将来の用途変更を考慮して改修しやすい壁等の構造とします。

6. その他

- (8) 環境に配慮した学校施設
- ①断熱性を確保することで、省エネルギーで快適な室内環境が保てるようにします。
 - ②太陽光や雨水などの自然エネルギーをいかした施設とします。
 - ③LED等の省エネルギー性に優れた機器や設備を効果的に採用します。
 - ④環境学習の教材として消費エネルギーの見える化を図り、省エネ活動の取組の成果が把握できるようにします。

2. 敷地概要・計画概要



□敷地概要

計画地	府中市是政1丁目34番地
敷地面積	15,310㎡
法定建ぺい率	50%・60%
法定容積率	100%・200%

□法的規制

区域指定	都市計画区域
用途地域	第一種中高層住居専用地域
防火指定	準防火地域
高度地区	第一種高度地区・第二種高度地区
地区計画	なし
日影規制	3h-2h/4m

□改築計画施設の規模

延床面積	校舎棟：約8,000㎡ 体育館棟：約1,900㎡（第八学童クラブ・放課後子ども教室含む） 附属建物（屋外倉庫, 屋外トイレ等）
階数	3階建て
構造	校舎棟：鉄筋コンクリート造 体育館棟：鉄骨造

□構成諸室

校舎棟	普通教室（普通教室（24教室）、学習室） メディアセンター（図書室、コンピュータ室） 特別教室（理科室、音楽室、家庭科室、図工室） 管理諸室（校務センター、学校経営ルーム（校長室）、用務員室、保健室、印刷室、教職員更衣室、放送室、配膳室、教育相談室等） 共用諸室（トイレ、更衣室、倉庫等） 特別支援諸室（特別支援教室） その他（多目的ルーム、和室、会議室、PTA室等）
体育館棟	体育室、器具庫、トイレ、学童クラブ、放課後子ども教室、プール（屋上）等
附属建物	屋外倉庫、屋外トイレ等

3. 配置計画

□配置計画の考え方

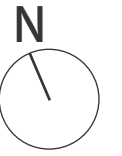
配置計画では、敷地を有効的に活用した学校づくりを行います。

- 敷地北側に校舎を集約して配置することで南側には既存同様にゆとりのあるグラウンドを計画し教育環境の向上を目指します
- 敷地全周にわたり歩道を整備することで近隣住民の通行や登下校時における児童の安全性を確保します
- 校舎棟と体育館棟との間にはピロティを設け、災害時には防災広場としても活用することで避難所機能の向上を目指します



4. 平面計画

(2) 2階平面図



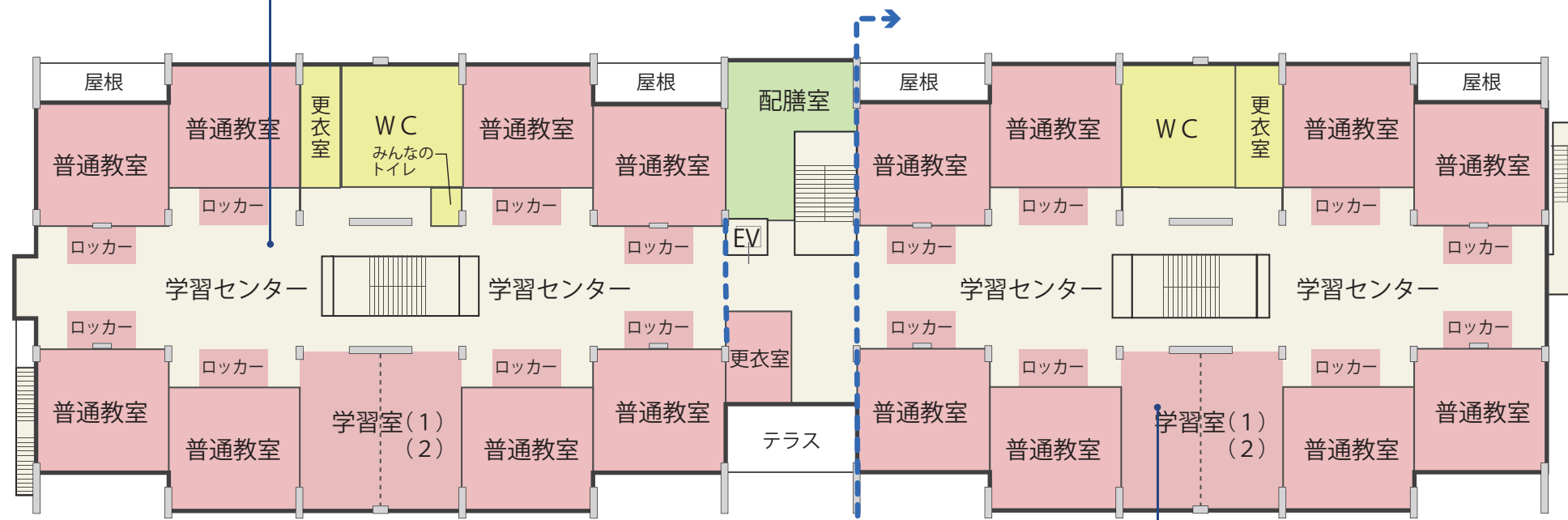
4. 平面計画

(3) 3階・屋上平面図

オープンスペースイメージ



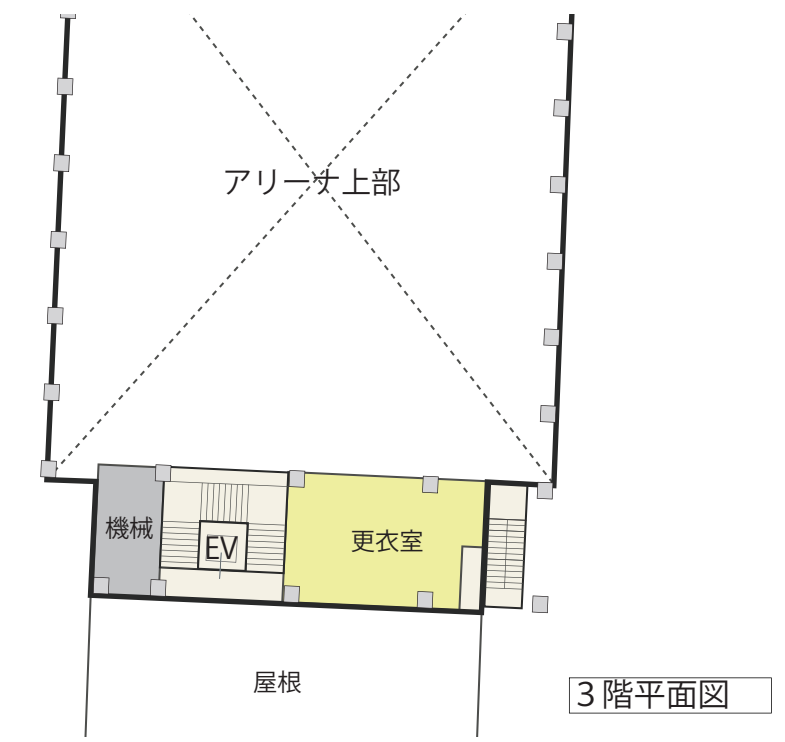
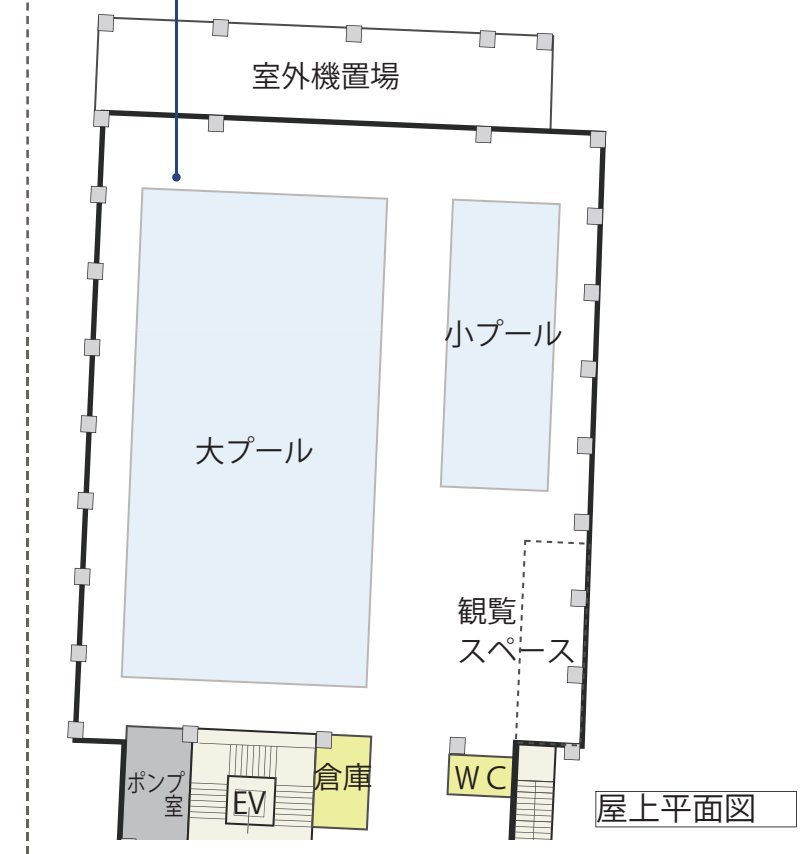
多様な学習活動を促す共用廊下
(オープンスペース)
クラスを超えた協同学習や発表活動
の場とします



2学年共用の学習室
習熟度別少人数学習の他、
多目的に使えるようにします

さらなる地域開放ゾーン
(地域開放・他用途利用)

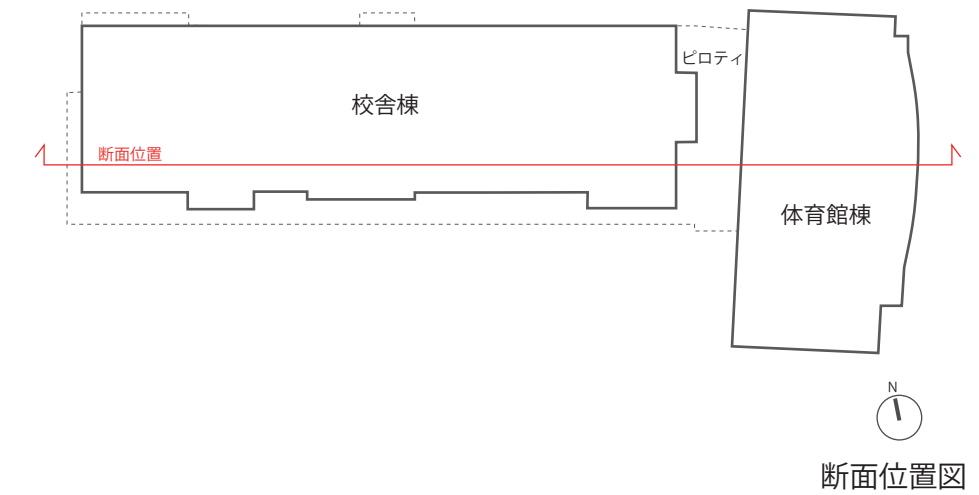
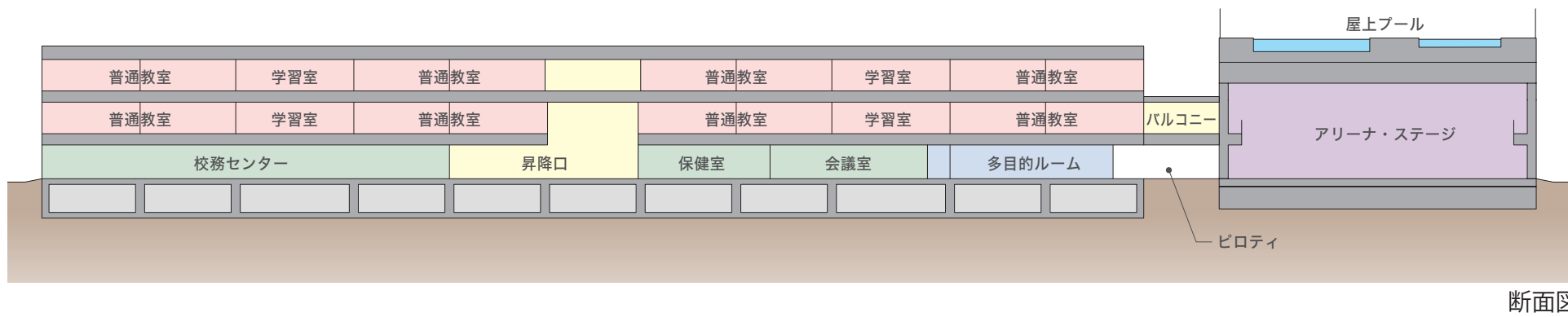
安全に泳げる屋上プール
プールサイドにゆとりを確保し、深さの異なる大プールと小プールを用意します



- 【凡例】
- 普通教室
 - 特別教室
 - 管理諸室
 - 児童出入口
 - 地域・来客出入口
 - 特別支援諸室
 - アリーナ・ステージ
 - 共用諸室
 - 地域開放ゾーンのセキュリティ区画

S=1:400

5. 立面・断面計画



6. イメージパース



7. 環境計画・省エネルギー配慮計画、防災計画

(1) 環境・省エネルギー配慮計画

■機械に頼らない自然の力を活用した施設づくり

- ①南面教室は庇により、夏場の日射を抑制します。
- ②階段室の吹抜けを利用した排気により、自然の空気を建物内全体に取り入れ中間期に自然換気を促進させます。
- ③高断熱・高遮熱の外壁材やガラスを採用します。
- ④太陽光発電や校庭散水などへの雨水利用など、自然のエネルギーをいかします。

■省エネ技術の活用と環境教材化

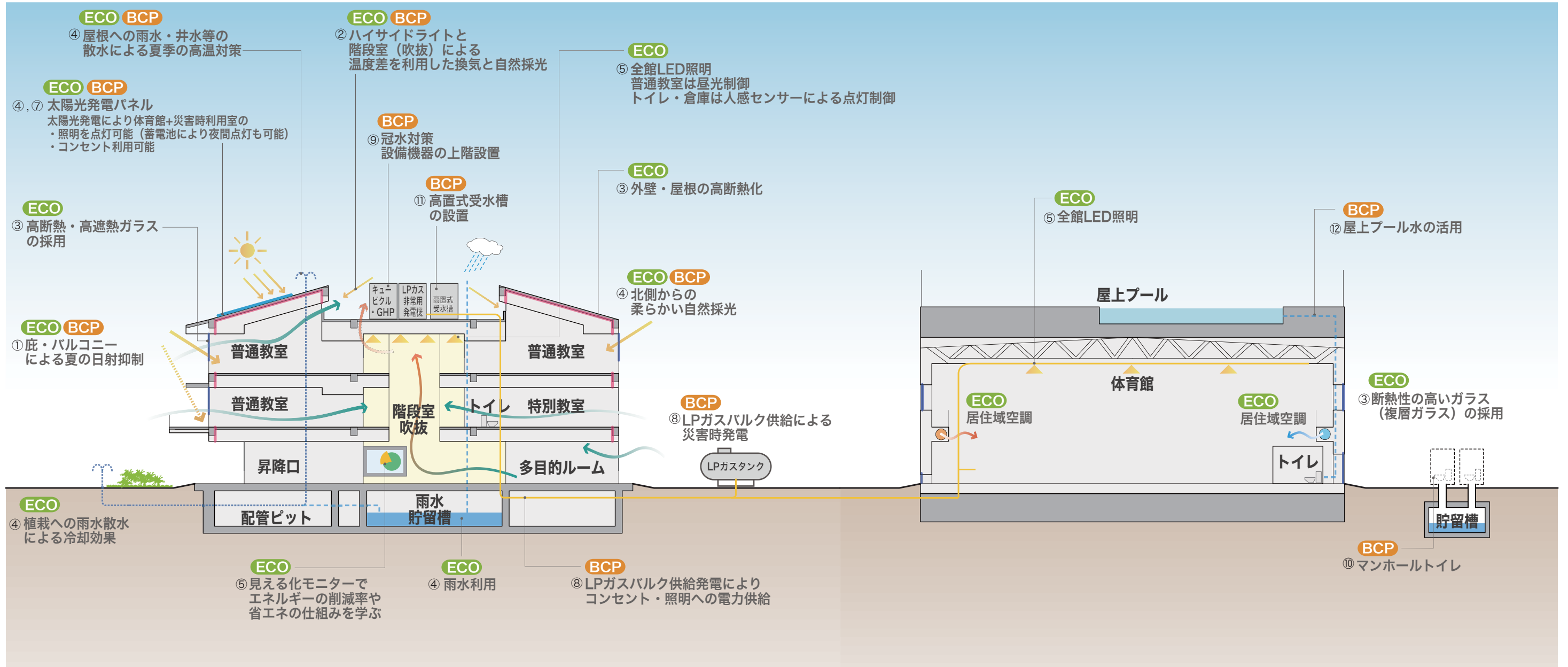
- ⑤照明のLED化や人感センサーの導入により、省エネを推進します。
- ⑥各種省エネ技術のエネルギーの削減率、その仕組みを表示する「見える化モニター」を設け、児童の環境への関心を高めます。

(2) 防災計画

■災害に強い施設づくり

- ⑦太陽光発電は、通常時だけでなく非常時にも電力を供給できるようにします。
- ⑧LPガスバルク発電により、非常用の電力を確保します。
- ⑨主要電気設備機器は、冠水対策として2階以上に配置します。
- ⑩マンホールトイレを設置し、下水道の断絶時にもトイレ機能を確保します。
- ⑪高置式受水槽により、断水時も一定量の水を確保します。
- ⑫断水時にプールの水をトイレの洗浄水として活用します。

凡例	
ECO	：環境・省エネルギーへの配慮
BCP	：防災対策



8. 設備計画

■電気設備計画

(1) 電力引込み設備

- ・電力会社から、高圧 6,600V 50Hz・1 回線を架空引込にて受電します。

(2) 受変電設備

- ・校舎の建替え計画や既設設備の劣化と容量不足を踏まえ、キュービクル式受変電設備を新設します。

(3) 発電機設備

- ・災害対策として、LP ガス式の発電機を設置します。
- ・電源供給場所は避難場所となるエリアへ供給します。

(4) 太陽光発電設備

- ・建物の屋上に太陽光パネルを設置します。
- ・蓄電池を設置し、発電した電気を蓄えられるように計画します。

(5) 照明設備

- ① LED 照明により省エネを図りながら、適正な明るさを確保します。

- ②点滅計画

- ・トイレは消し忘れに対する節電のため、人感センサーにより点滅する計画とします。

(6) 防犯カメラ設備

- ・防犯カメラは既存の移設にて対応します。

■空調換気設備計画

(1) 空調設備

- ・電気式又はガス式の空冷ヒートポンプパッケージ空調機で空調します。

(2) 換気設備

- ・省エネルギーに配慮し、居室は全熱交換器を用いた換気システムとします。

■衛生設備計画

(1) 給水設備

- ・飲料水（上水）とトイレ洗浄水（雑用水）の2系統の給水方式とします。

(2) 衛生器具設備

- ・節水性、清掃性、利便性等に配慮して、器具を選定します。

(3) 消火設備

- ・消防法に基づき、屋内消火栓を設けます。屋内消火栓は易操作型1号消火栓とします。

(4) LPGガス設備

- ・LPG ガス用発電機、災害時の避難所エリアの空調（GHP）用にLPG ガスバルクタンクを設けます。
- ・非常時の煮炊き用にタンクから直接供給可能なガス栓を設けます。

(5) 雨水利用設備

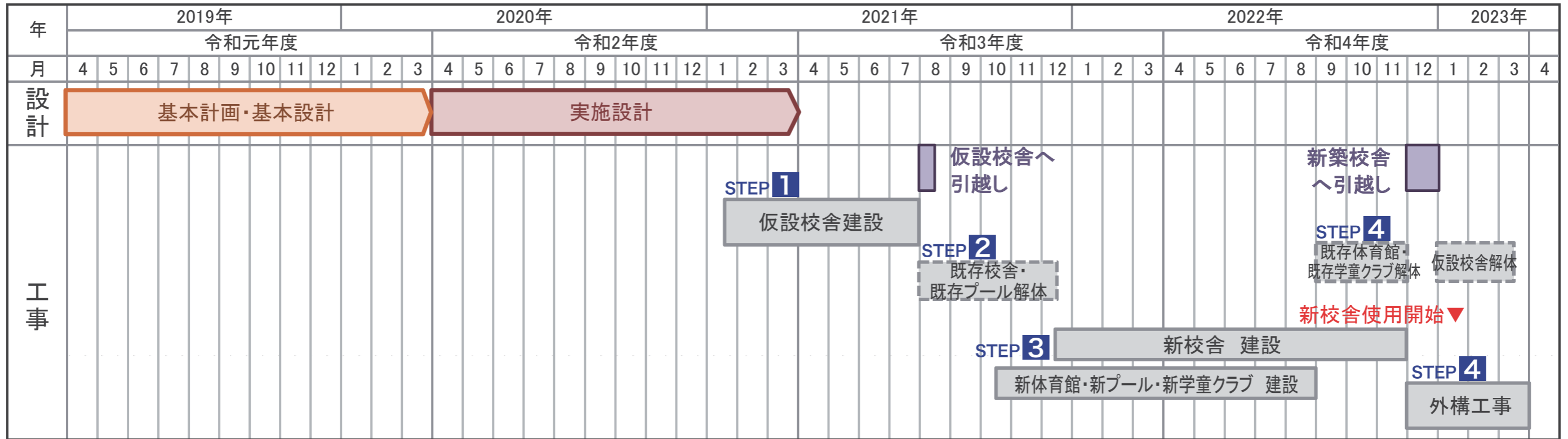
- ・ピットに貯留した雨水をろ過して雑用水（トイレ洗浄水）としての利用を検討します。

■ICT 設備計画

- ・ICT 機器の整備については、今後、ICT 機器の進歩や在り方の変化に柔軟に対応できる配管・配線等の整備を行います。

9. 工程計画、建替計画、概算工事費

■工程計画



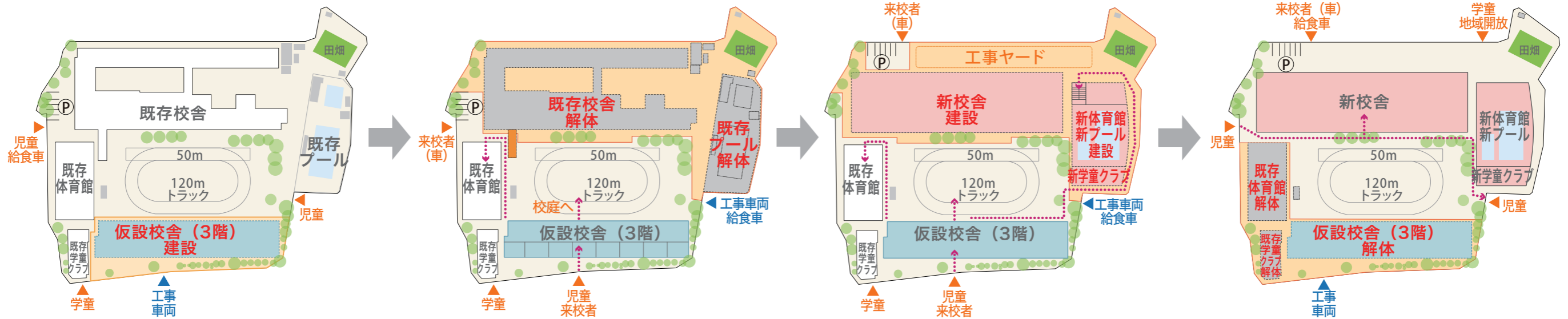
■建替計画

STEP 1 仮設校舎建設

STEP 2 既存校舎・既存プール解体

STEP 3 新校舎・新体育館・新プール・新学童クラブ建設

STEP 4 仮設校舎・既存体育館・既存学童クラブ解体
外構工事



【凡例】
 新築建物
 仮設校舎
 既存使用中建物
 工事に用仮囲い (H=3m)
 樹木

■概算工事費 (税抜き)

- ・校舎棟 約3.1億円
- ・体育館棟 約1.2億円